

活動歴報告書
(令和3年4月から令和4年3月まで)

活動内容総括表

	活動概要
①	<p>地域での地球温暖化防止活動支援事業 <環境省補助事業></p> <p style="text-align: right;">実施期間：2021年度</p> <p>温対法が定める県センターの役割を果たすため、日常生活での温室効果ガスの排出実態の把握や調査、温暖化防止活動推進員への支援、地球温暖化に関する啓発や広報を実施するとともに、地域の関係者との連携と連絡調整を行い、低炭素社会建設につながる活動基盤の形成に取り組みました。</p> <p>(1) 地球温暖化防止活動連絡調整会議の開催 ○和歌山県を含む9団体による表記会議を計1回開きました [実施日：2022年2月22日] @オンライン (発信場所：和歌山市)</p> <p>(2) 温室効果ガスの排出実態の把握、分析 ○各種イベント開催時に、環境意識に関するアンケートを実施しました ◆383件の回答を集計分析し、事業実施事務局宛に提出しました。</p> <p>(3) 推進員の支援、連携、調査及び啓発・広報 ○国民運動として環境省が展開する「クールチョイス」賛同者獲得に向けた啓発活動を行いました。 ◆個人369人/団体0団体の賛同を得ました。 ○和歌山県地球温暖化防止活動推進員総会 開催 学習研修会を開催しスキルアップを図りました [実施日：2021年2月27日] @オンライン</p> <p>①</p> <p>(4) 地球温暖化対策の現状、進捗状況に関する啓発・広報 ○一般企業と共催の啓発イベントや、小学校、婦人団体での学習会などを開きました [2021年7月14～16日] 環境出前講座@和歌山県立和歌山商業高等学校1年生全員 [2021年8月21日] 環境意識向上研修@海南市の製造系企業(1回目) [2021年9月25日] 環境意識向上研修@海南市の製造系企業(2回目) [2021年10月19日] 環境意識向上研修@海南市の製造系企業(3回目) [2021年10月26日] 環境出前講座@和歌山市立ふじと台小学校5年生全員 [2021年10月26日] 環境出前講座@和歌山市立東和中学校2年生全員 [2021年11月10日] 環境出前講座@林業女性部からの依頼(御坊市) [2021年11月20日] ふれあい人権フェスタ出展@和歌山市ビッグホール</p> <p>○地域のイベント会場で推進員らが啓発活動を実施しました [実施日：2021年6月12日] 環境祭2021@紀の川市ふるさとセンター屋外</p> <p>(5) 民間の団体等における地球温暖化防止活動の実態把握及び活動支援 ○県内市民団体の温暖化防止への関心や活動実態を把握するためのアンケートを実施しました ○民間団体の活動(上記の啓発イベント)を支援しました [2022年2月13日] 環境出前講座@和歌山市</p>

<p>②</p>	<p>和歌山県草の根運動推進事業 <和歌山県委託事業></p> <p style="text-align: right;">実施期間：2021年度</p> <p>○地域協議会等の取り組みへの支援</p> <p>◆各種イベントへの出展等を支援(新型コロナウイルス拡大を鑑みつつ実施)</p> <p>○和歌山県温暖化対策情報誌『わおん通信 (1,800部、年4回発行) を編集しました</p> <p>◆第41号 (夏)、第42号 (秋)、第43号 (冬)、第44号 (春)</p> <p>○推進員養成講座&推進員スキルアップ講座を開催</p> <p>2021年6月26日 @紀の川市</p> <p>2021年7月17日 @新宮市</p> <p>2021年7月25日 @和歌山市</p> <p>2021年7月31日 @田辺市</p> <p>2021年8月8日 @橋本市</p> <p>2021年8月28日 @日高町</p> <p>2021年11月21日 @御坊市</p> <p>*新たに9名の地球温暖化防止活動推進員が委嘱されました。</p>
<p>③</p>	<p>「おもしろ環境まつり」企画・運営等委託事業 <和歌山県委託事業></p> <p style="text-align: right;">実施期間：2021年度</p> <p>○おもしろ科学まつりとの共催で「おもしろミライまつり」(オンラインイベント)を開催</p> <p>◆新型コロナウイルス対策で会場集客をとまなう開催は行わず、インターネット配信形式で開催、2日間の生配信イベントを行いました。</p> <p>実施日2021年11月13日・14日 @オンライン生配信(和歌山市)</p> <p>参加者計2091人</p> <p>◆実行委員会の実施(計4回)</p> <p>○おもしろ環境まつり公式WEBサイトでの出展を募りオンライン展示を実施</p> <p>◆地球温暖化、エネルギー、リサイクル、食と農、生物多様性の各分野から45団体が出展しました。</p>

④ 海洋プラスチックごみ対策を主体とした環境保全教育事業 <和歌山環境保全公社委託事業>
 実施期間：2021年度

海洋プラスチックごみを含む廃棄物全般の実態を理解する機会をつくり、インターネット上のサービスを中心に啓発展開した。専用WEBサイトにて、学習教材コンテンツの発信、参加者の継続的な自主活動につながるコミュニティの場を提供し、海洋保全への関心の高まりと実践者の活動記録への評価、成果の共有を図った。また、小学校の授業時間内で動画とフィールド学習の実践的な取組を展開し、学習指導の提案内容を固めた。

○教育内容の策定と企画立案

- ◆小学校を対象にした、環境学習プログラムの開発
- ◆授業内で、うみわかまもる動画を視聴用教材として使用
- ◆海洋環境学習の専門講師を派遣し、海洋問題のポイントについて解説
- ◆和歌山県外の同様の学習を展開する、各種学校とのオンライン交換授業の実施

○広報・募集および受付

- ◆会員募集チラシの制作及び配布
 - *関連団体&イベント：15ヶ所
- ◆活動&PR用オリジナルTシャツ&ポロシャツ配布
 - *Tシャツ 200枚 ポロシャツ 20枚
- ◆SNSサイトの運用&更新
 - *フェイスブック <https://www.facebook.com/umiwakamamoru/>
 - *インスタグラム <https://www.instagram.com/umiwakamamoru/>
- ◆各種メディア取材対応
 - *2021年10月13日 エフエム和歌山 番組内で告知
 - *2021年10月20日 第15回3R推進全国大会で紹介展示
- ◆市民団体・公益団体主催イベントの支援
 - 広報展開のためビーチクリーン活動団体の取材&支援を行った
 - *2021年10月3日 浜の宮海水浴場@和歌山市[主催]
 - *2021年10月16日 野島漁港@御坊市[支援]
 - *2021年11月23日 片男波海水浴場@和歌山市[主催]
 - (↑友ヶ島での開催を計画するも荒天で欠航となり、開催地を変更)
- ◆うみわかまもるプロジェクト こども隊員任命式・次年度募集イベントを開催
 - 本プロジェクトに参加および活動した会員を対象に任命式を開催。昨年引き続き「あなたがピカソ」イベント内で予定したが荒天のため中止となり開催場所を変更。
 - *2022年3月26日(土) 14:00~15:00
 - *和歌山県JAビル アグリテラス(1F) (歌山市美園町5-1-1)

○制作物・成果物

- ◆公式WEBサイト (<https://umiwaka.net/>) の更新
 - 会員制サイトとして運用し、実践者が活動レポートを投稿し訪共有できるしくみで運用した。投稿内容は未登録でも閲覧可
 - *登録者：82人 *アクセス数 429回
- ◆保全活動を啓発するコンテンツの制作
 - 本プロジェクトのマスコットキャラクターを制作し、ストーリー展開による動画制作および配信を行った。「うみわかまもる」(Youtube) <https://www.youtube.com/channel/UCxAle108ueyIWLWMR0h1TqQ>
 - *2021年4月1日~2022年3月31日(事業期間以降も継続運用)
 - *登録者数：65人/公開動画数：19本/視聴回数：3435(2022/3/30現在)
 - *コマースシャル動画：1作品(2分間CMとしてチャンネルトップで自動再生)
 - *メイン動画：6作品(事業テーマをシリーズで展開)
 - *サブ動画：13作品(キャラクター誕生/活動レポート他)
- ◆広告物の制作(チラシ、特典等)
 - 本プロジェクト周知のためのチラシ制作を行った
 - *昨年同様のデザインを使用し主に、クリーンイベント等で配布

⑤ 食品ロス削減推進事業 <和歌山環境保全公社委託事業>

実施期間：2021年度

食品の調達と廃棄行動の追跡調査を行った。そこから得られた様々な課題点を検証し、解決に結びつく具体例やアイデアを取りあげ、情報発信した。また、県民を中心としたアンケート調査を行い、共通する課題への解決につながるヒントや情報について啓発を行った。

- 食品の調達と廃棄行動に関するモニター実践者を募った追跡調査
 - ◆食品の調達と廃棄行動に関するモニター実践者を募った追跡調査
 - *募集期間：2021年7月30日から8月15日
 - *NPO法人ホッピングの会員サイト上で告知、専用フォームから応募
 - *調査対象：23世帯
 - *調査機関：2021年9月から2022年2月までの6ヶ月間

- 食品ロス削減実践者との交流
 - ◆情報収集&共有を図るため以下の日程で交流会を実施

実施日：2021年10月28日 @和歌山市

実施日：2021年11月16日 @オンライン (ZOOM)

実施日：2021年12月7日 @オンライン (ZOOM)

各回とも以下の共通テーマで意見交換を図った

- *報告手順や内容についての意見 (報告しづらい点、疑問点など)
- *実践アイデアや家庭ごとの事例 (家族形態個別の悩みや解決方法など)

- アンケート調査
 - モニター調査での実践内容をもとに有効性のある設問内容を検討した
 - *実施日：2022年3月15日
 - *民間のオンラインアンケート調査システムを利用、1,000人を対象に実施した。

- 食品ロスについてのコンテンツ制作&配信による啓発
 - ◆余りがちな食材について募集し、その活用法について以下のとおり調査し動画を配信した。
 - *余りがちな食材について予備アンケートを実施
 - *上位3品目についてアレンジレシピを考案 (料理講習専門家に依頼)
 - *専門家講師による料理講習会を実施
 - *本事業スタッフによる「モニター参加者」から得たヒントをまとめ紹介
- 和歌山食と暮らしプロジェクトチャンネル (You Tube) <https://www.youtube.com/channel/UCQfCtSulyac6Ty1NvtoNWLg>

⑥ わかやまクリーンプロジェクト <JT委託事業>

実施期間：2021年10月～継続中

県内各地の海や川などを中心とした保全活動への参加者を増やすためのユニークなイベントの企画、運営。また活動実績をレポート&公開し、関心と賛同が増えることによって、現状把握と自主的な保全活動がより活発化し、恒常的な動きとなることを目指していきます。

県内各地で行われているクリーン活動の情報を共有し、SNS等を活用し「見える化」を実施。

活動の楽しさと、身近なところで行われている状況を伝えて参加者を多く募りました。

また、海洋プラスチックに関するドキュメンタリー上映の機会をつくって、日本だけでなく世界の

動向や対策などの心づくりのための時間を構築しました。

*2022年2月11日～20日 映画「マイクロプラスチックストーリー」オンライン上映

*2022年2月5日～12日 映画「マイクロプラスチックストーリー」オンライン上映

*2022年6月12日 映画「マイクロプラスチックストーリー」イベント併設上映

- 事業継続中につき、最終的な取りまとめは次期活動報告にて掲載予定

⑦	<p>SAVEJAPANプロジェクト <日本NPOセンター委託事業> 実施期間：2021年10月～継続中</p> <p>和歌山県の準絶滅危惧種に指定されているオオムラサキの生態系をとおり、生息地である“森”の多様性を学び、生物が互いに関わりながら生息できる環境づくり、希少生物種の保全活動をおこないます。小学高学年から大人までを参加対象として、世代を超えた交流を通じて持続可能な取り組みに発展していくことを目的とします。</p> <p>活動フィールドはいずれも「根来山げんきの森」で行っています。</p> <p>*2021年12月5日 座学&フィールドワーク [専門家からの基礎知識&森散策] *2022年1月16日 雑木林の整地&観察会1 [下草の整備と枯れ木伐倒&薪用木作成]</p> <p>*2022年2月20日 雑木林の整地&観察会2 [下草の整備と枯れ木伐倒&薪用木作成]</p> <p>*2022年3月20日 クヌギの植樹 [成虫オオムラサキのエサの木/バームクーヘンづくり]</p> <p>これら一連の活動の様子について、動画配信を行うための撮影および編集業務を担いました。</p> <p>○事業継続中につき、最終的な取りまとめは次期活動報告にて掲載予定</p>
⑧	<p>理事会活動、組織の維持拡大に係る諸活動・対外活動 実施期間：2021年度</p> <p>○理事会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今年度は2回開催し、これまでの団体活動全体の成果とふりかえりを行い、課題点と具体策について活発な意見が交わされました。 ◆次年度の活動に向けたスケジュールと、部会などの専門的な集まりの機会増を求める意見がありオンラインを活用していく旨の話し合いが行われられました。 ◆関係団体が各々で抱える課題点、WeNETとの連携を行えるしくみで発展的な展開を行うことが話し合われました <p>○組織の維持拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今期も会員拡大の数値目標を掲げましたが、具体的な活動には至らず減少に転じました ◆企業会員、個人会員の退会があり、今後の課題となりました <p>○対外活動・広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県環境表彰選考委員等、環境市民団体を代表し引き続き積極的な役割を担いました。また、地方自治体、森林組合や農協等の職能団体、企業等と積極的に連絡を取り合い、協力協同の輪を広げました。 ◆ネットワーク組織としてさらに有効な情報発信の手段を用いることが求められます。